

## 北極圏旅行記 2017-2018 冬 (17)

～12/31 北極圏のレストラン～

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

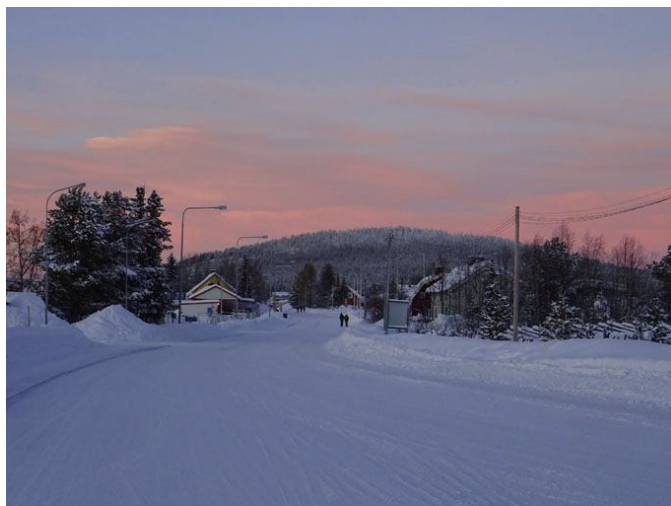
アイスホテルを見学したあと、ちょうどお昼時だったので、昼食をとることにした。このあたりには、松屋もバンビもロイヤルホストもない。幸い、アイスホテルと通りを挟んで、大きなレストランがある。



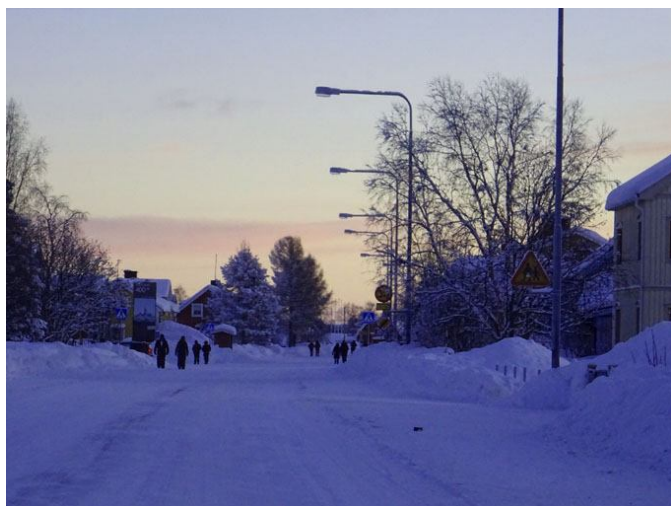
私はこのレストランを何度も利用したことがある。最初は席の数も少なく、値段も安かった。しかし、今は200席はありそうおだ。スウェーデンの北極圏では最大級のレストランだろう。



ランチはバイキング形式だが、その内容がすばらしい。サラダ、パン、サーモン、ローストビーフ、タラのクリームソース、オリーブ、飲み物、デザートなどすべて食べ放題。3日間ぐらい居座りたいと思った。特にサーモンはすばらしい。ノルウェー産だろう。ちょっと高いがお値打ちのランチだった。」



レストランのあるユッカスヤルビは、アイスホテルがなければ、実に寂しい村だ。アイスホテル周辺を除いて、人影もまばらで閑散としている。



それでも「中心部」にはスーパーや郵便局もあり、アイスホテルの宿泊客が散策に歩いている。しかし気温は氷点下20℃以下。外出は30分ぐらいが限界だ。



もともと太陽は昇らないのだが、午後1時を過ぎると、急に暗くなってくる。しかしこんな土地にも民家はあり、人の営みがあるのだ。



